

浸水津波 避難ハザードマップ

南海トラフ地震 理論上最大モデルの被害想定

浸水深30cmに到達する時間の分布

地震発生後から、浸水深30cmに到達するまでの時間を示した図です。30cm以上の水深があると、歩いて避難するのが難しくなります。また、避難の準備ができて家を出るのに必要な所要時間の目安は15分ほどかかります。

※このマップは雨や台風による浸水被害を示すのではなく、堤防の破壊によって川の水が流れ込むことによる浸水被害を示したマップです。

津波災害警戒区域(イエローゾーン)

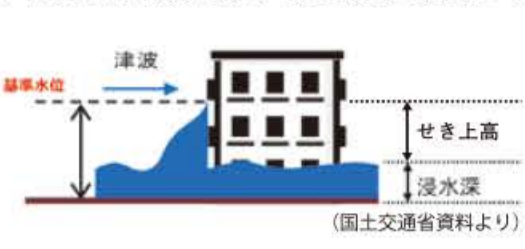
最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域です。この区域は、住民等が平常時には通常の生活や社会経済活動を営みつつ、いざという時には津波から「逃げる」ことができるように指定する区域で、建築物の建築や開発行為が制限されるものではありません。

蟹江町は全域が津波災害警戒区域に指定されています。

基準水位及びせき上

基準水位は、津波浸水想定で定める浸水深に、建築物等への衝突による津波の水位上昇を考慮して認められる値を加えて定める水位です。基準水位は津波に対して適切な避難高さであるため、避難施設等の効率的な整備の目安となります。なお、基準水位は、津波浸水想定における浸水深と同様に地盤面からの高さ(水深)で表示します。

また、建築物等に衝突する津波の水位上昇をせき上といえます。



指定避難所 List of designated evacuation shelter

災害の危険に伴い避難してきた人々が一定期間滞在する施設(町が指定する施設)

指定避難所	階数	電話番号(0567)
1 蟹江中学校	3階	95-2057
2 蟹江北中学校	4階	96-1145
3 蟹江小学校	4階	95-2037
4 舟入小学校	2階	95-2202
5 新蟹江小学校	4階	95-2203
6 須西小学校	3階	95-2201
7 学戸小学校	3階	96-2588
8 蟹江保育所	2階	95-2455
9 蟹江南保育所	2階	95-3449
10 蟹江西保育所	2階	95-6454
11 須成保育所	2階	95-0067
12 新蟹江北保育所	2階	96-1050
13 蟹江町体育館	1階	95-6330
14 蟹江中央公民館	2階	96-1135
15 舟入ふれあいプラザ	2階	95-1011
16 蟹江児童館	2階	95-6030
17 新蟹江児童館	2階	95-5441
18 みどりの家	2階	95-6511
19 蟹江町図書館	2階	95-0605
20 蟹江町産業文化会館	4階	96-0170
21 蟹江町希望の丘広場	4階	94-3800
22 蟹江町多世代交流施設「泉人」	3階	95-0026

指定緊急避難場所 List of designated urgent evacuation area

災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所(町が指定する施設)

指定緊急避難場所	階数	電話番号(0567)
1 蟹江中学校	3階	95-2057
2 蟹江北中学校	4階	96-1145
3 蟹江小学校	4階	95-2037
4 舟入小学校	2階	95-2202
5 新蟹江小学校	4階	95-2203
6 須西小学校	3階	95-2201
7 学戸小学校	3階	96-2588
8 蟹江町希望の丘広場	4階	94-3800
9 善太排水機場	95-1111(役場)	
10 須成排水機場	95-1111(役場)	
11 蟹江川排水機場	95-1111(役場)	
12 蟹江町多世代交流施設「泉人」	3階	95-0026
13 蟹江町観光センター「泉人」	2階	58-3310

緊急避難場所 List of evacuation area

浸水により指定緊急避難場所までの避難が難しい場合には、民間のマシオン等に緊急的に避難する

緊急避難場所	階数
1 ヨシツヤ JR 蟹江駅前店	2階
2 ヨシツヤ 専門店	3階
3 ホームセンターコーナン蟹江店	2階
4 第8近藤ビル	2階
5 三河屋	5階
6 加藤建設	4階
7 ルミエール	7階
8 フローラル富吉駅前	14階
9 富吉グリーンハイツ	10階
10 アーバンハイツ富吉	6階

官公庁施設 List of government office facilities

官公庁施設	電話番号(0567)
1 蟹江町役場	95-1111
2 蟹江町消防署(蟹江町消防本部)	95-5121
3 蟹江警察署	95-0110
4 蟹江警察署/須成駐在所	95-0110
5 蟹江警察署/蟹江交番	95-0110

地震が発生したとき、家族が同じ場所にいるとは限りません。このマップを利用して自宅、勤務先、学校から最も近い避難場所を確認しておきましょう。

また、地震はいつ発生するかわかりません。夜間や大雨の日に地震が発生すれば、避難場所までの道がわからないかもしれません。家族で決めた避難場所へ行く途中に、危険な場所・注意しなければならない場所がないか確認し、このマップに書き込んでみましょう。

凡例

- 1 指定避難所 Designated evacuation shelter
- 1 指定緊急避難場所 Designated urgent evacuation area
- 1 緊急避難場所 Urgent evacuation area
- 救援部隊活動拠点 Relief corps headquarters
- 災害ボランティアセンター The disaster volunteer center
- 災害時医療救護所 Emergency medical care station
- 蟹江町防災倉庫 Kanie disaster prevention warehouse
- 避難に適した建物 Building suitable for evacuation
- アンダーパス Underpass
- 乳幼児優先避難所 Infant priority shelter

防災BOX 地震自動開錠ボックス

小・中学校、希望の丘広場、観光交流センターには、夜間や休日など施錠されている場合でも扉を開錠することができるよう、施設出入口の扉に入った防災ボックスを設置しています。(防災ボックスは扉を5回以上の上の線を感知して自動で開錠します。)

避難の仕方

水平避難

避難場所・避難所へ避難すること。川と垂直方向に逃げましょう。

垂直避難

避難場所・避難所へ避難するに危険が伴う場合に、指定緊急避難場所、緊急避難場所、自宅や近隣の建物の2階以上へ避難すること。

地震の揺れを感じたときは水平避難(避難場所・避難所へ避難)することが大切ですが、状況によっては外へ出て避難所へ行くのがかえって危険な場合があります。以下の項目の一つでも当てはまる場合は無理に外に出ず、少しでも高いところに避難する垂直避難をしましょう。

命を守るために避難するのは避難場所。

避難所までに30cm以上浸水しているところを避けるべきではない。

夜間や避難路上の危険箇所がわかりにくい。

水深は浅い(20cm程度)が、水の流れる速い。

避難路上に蓋のない用水路等があり、位置がわからない。

想定最大浸水深

地震発生後12時間後の状況

地震発生から12時間後の、町内の浸水深の想定結果を示した図です。

河川からはなれたところでも、広く浸水していることがわかります。

せき上高を含む新しい想定です。



液状化危険度

地震発生とともに町内のいたるところで液状化が発生します。窪地や段差があちこちにある場合もありません。避難時には注意が必要です。

液状化危険度

なし
可能性が高い
可能性が極めて高い



液状化危険度

地震発生後の液状化の状況

地震発生とともに町内のいたるところで液状化が発生します。

窪地や段差があちこちにある場合もありません。

避難時には注意が必要です。



液状化危険度

なし
可能性が高い
可能性が極めて高い

液状化危険度

なし
可能性が高い
可能性が極めて高い



南海トラフ地震想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合には、後発地震に備えて「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表されます。

この「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表され、国からの指示があった場合には、「事前避難対象地域」では1週間を基準として避難を継続します。

この時、事前避難対象地域外の知人・親戚宅、宿泊施設等に自身で避難していただきますが、町においても避難所を開設し受け入れを実施します。

耐震、家具固定、備蓄品、津波基準水位の確認等から自宅等において屋内安全確保が可能な場合には、屋内安全確保による在宅避難も有効な避難手段となります。

- 南海トラフ地震発生
 - 巨大な後発地震の可能性が高いと判断
- 「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」発表
 - 国からの事前避難の指示
- 1週間を基準として事前避難対象地域外へ避難
- 十分な対策の下に屋内安全確保による在宅避難

避難困難水位(30cm)到達時間

- 5分
- 15分
- 30分
- 60分
- 90分
- 120分
- 120分以上

津波浸水想定区域の中でも避難が困難となる30cm以上の浸水が30分以内に生じる地域は、特に対策、心構え等が必要な地域です。この地域が避難困難地域として「事前避難対象地域」とされました。



1:9000

0 0.5 1km